



AED寄贈！安心のために



札幌北法人会当別支部（宮永雅己支部長）より、AED（自動体外式除細動機）の寄贈がありました。

同支部からは、町内の学校をはじめ公共施設の安全対策の一助にと、5年連続の寄贈で、装置は「学習交流センター」に配備される予定です。 (8月19日)

迫力のリングに興奮



東日本大震災被災者や福祉事業に役立ててもらおうと実行委員会主催によるチャリティプロレスが開催されました。

初めに見学に集まった小学生の児童が束になってレスラーに挑戦、子ども達がロープに追いつめるシーンもありました。

この後、女子プロレスを含む3つのマッチとメインイベントの対戦があり、会場につめかけた200人ほどのプロレスファンからは盛んに声援が飛んでいました。

(8月5日)

綺麗になった会館倉庫



みどり野町内会ひろお（二塚恕夫会長）では、会館前に設置してあるコンテナ倉庫を、子ども会の協力で綺麗に塗り替えました。

倉庫には防災用具や草刈機などを収めていますが、みどり野町内会のイメージに合った絵柄にしたいと子ども会に協力を要請。横山玲菜さん（弁華別小6年生）の「太陽に向かって伸びるひまわり」のデザインが採用されました。塗装は下地に1日、ひまわりや雲は子ども達が担当し、綺麗な倉庫に生まれ変わりました。 (8月7日)

広 告

線香花火が出来た



当別総合型地域スポーツクラブ（フレ・スポ・とうべつ）が、線香花火を作る「理科実験講座」を開催しました。

講師は当別町教育委員の武岡和廣さん。講座には町内の小学生20名が参加しました。

参加者は最初に、銅やアルミニウムが燃えるとどんな色になるかななどの説明を受け、実際に実験してみました。最後にはタコ糸に鉄粉を染み込ませて作った、世界にひとつだけの「私の線香花火」を楽しみました。（8月11日）

めだかの広場短歌の集い



当別地区地域用水対策協議会が主催で、基線川の「めだかの広場短歌の集い」が開催され、当別短歌会と西当別蒼林^{そうりん}短歌会など75名が参加しました。

農業施設の理解を深めるため設置された親水公園内には、農村風景などを題材にした30首の短歌がリニューアルされて並びました。

短歌が掲示された近藤英男さんは「童謡”ふるさと”の歌詞のように、私たちの”当別”を懐かしんで歌った短歌です。」と語っていました。（8月19日）



広 告